

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	男女共同参画課	職	課長	氏名	北山章
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革	「男女共同参画社会」という用語の周知度	%	100 (H27)	67.5 (H22)	(H26)	
施策2	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大	県審議会等における女性委員の割合	%	50.0 (H32)	32.4 (H25)	(H26)	
施策3	女性の人権が推進・擁護される社会の形成	「女性相談支援センター」の周知度	%	100 (H27)	29.0 (H22)	(H26)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値 (年度)		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
施策1	課題1	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進	1 大学におけるワークショップ開催回数	回	9 (H26)	8 (H25)	(H26)	若者の男女共同参画推進事業	県民	300			
			2 男女共同参画推進宣言企業認定数	企業	80 (H26)	63 (H25)	(H26)	企業の男女共同参画推進事業費	企業	1,000			
			3 男女共同参画出前講座開催回数	回	10 (H26)	9 (H25)	(H26)	男女共同参画推進ネットワーク事業費	男女共同参画推進員	1,178			
施策2	課題1	方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大	男女共同参画推進宣言企業認定数	企業	80 (H26)	63 (H25)	(H26)	再掲 企業の男女共同参画推進事業費	企業	1,000			
			1 女性県政会議参加者数	人	1,180 (H26)	1,250 (H25)	(H26)	女性県政会議負担金	石川県婦人団体協議会	1,250			
	課題2	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成	2 県政バス運行台数	台	200 (H26)	188 (H25)	(H26)	女性県政学習バス開催費	県民	12,021			
			3 ビジネススキルアップ講座受講者数	人	171 (H26)	171 (H25)	(H26)	いしかわ女性基金費(補助金)	県民	6,132			
施策3	課題1	女性に対するあらゆる暴力の根絶	女性に対する暴力をなくすシンポジウム参加者数	人	76 (H26)	80 (H25)	(H26)	配偶者等暴力対策費	県民	2,021			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 若者の男女共同参画推進事業	事業開始年度	H23	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011		

作 組 織	男女共同参画課				
成 職・氏名	主事 千田 えり				
者 電話番号	076 - 225 - 1376 内線 3873				

事業の背景・目的
 平成22年に実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」によると「男は仕事 女は家庭」という考え方について、20代の若い世代ではそれを肯定する者が多く、固定的性別役割分担意識が強くなっている。このことから、若い世代を対象に、自分が思い描く理想の生き方について考えるワークショップを実施し、多様な生き方を認め合う男女共同参画の理解の促進を図る。

事業の概要

○大学におけるワークショップ
 目的： 固定的役割分担意識にとらわれない生き方の必要性について気付きを促し、男女共同参画の理解の促進を図る。

①開催回数 9大学(9回)(県内大学キャンパス等で開催)
 ②対 象 大学生・短大生
 ③内 容 県内の男女共同参画の状況説明
 ・デートDVの予防啓発
 先輩社会人の体験談
 ・男女共同参画課職員
 ・自分らしい生き方の実践者
 ワークシートによる自分の意識の振り返り
 意見交換・意見発表

【参考】「男は仕事、女は家庭」の考え方について(H22意識調査より)
 賛成派(賛成+やや賛成)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
女性	25.3%	24.4%	27.0%	22.4%	37.7%
男性	41.7%	17.9%	33.7%	42.7%	40.9%

これまでの見直し状況
 H25年度実施内容
 ワークショップの実施(7大学(8回))

施策・課題の状況						
施策	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革				評価	
課題	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進					
	指標	大学におけるワークショップ開催回数			単位	回
	目標値	現状値				
	平成26年	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	9	-	3	7	8	

事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算		1,000	800	400	300
	決算		930	765	380	
一般財源	予算		1,000	800	400	300
	決算		930	765	380	
事業費累計			930	1,695	2,075	2,375

評価		
	項目	評価
		左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	企業の男女共同参画推進事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011		

作	組	織	男女共同参画課		
成	職・氏名	主幹(啓発普及GL) 中出 勤子			
者	電話番号	076 - 225 - 1378 内線 3871			

事業の背景・目的

男女雇用機会均等法や育児・介護休業法の改正など、企業における男女共同参画の枠組みづくりは着実に整備されてきているが、女性の登用が不十分な状況や男性の育児休業の取得が進んでいないなど、企業での男女共同参画の取組を更に進める必要があることから、企業の意識改革を促進するとともに、男女共同参画推進に向けた取組の実践を促す。

事業の概要

- 1 「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」の認定
男女共同参画推進に関する具体的な取組を宣言した企業等を「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」として認定し、その取組を支援する。
 - (1)対象 県内に事業所がある企業・団体等
 - (2)宣言の内容(下記に掲げる取組を1つ以上)
 - ポジティブ・アクション(積極的改善措置)推進の取組
 - ワークライフバランス(仕事と生活の調和)推進の取組
 - その他(男女が共に働きやすい職場環境づくり等)の取組
 - (3)認定企業への支援
 - ・シンボルマークの交付
 - ・企業名や宣言内容の広報
 - ・男女共同参画の推進に関する各種情報の提供

- 2 「企業の男女共同参画事例集」の作成
認定企業の取り組みを中心に、中小企業が実行しやすいよう事例集を作成
 - ・作成部数 5,000部
 - ・配布先 県内企業、企業・団体等、経済団体

- 3 男女共同参画推進セミナーの開催
認定企業数の拡大を図るため、企業等における男女共同参画の必要性について理解を深めるセミナーを開催し、意識の改革と取組の実践を促す。
 - ・対象 企業等の経営者、人事担当者等
 - ・内容 講演「経営戦略としての男女共同参画」(仮題)

- 4 男女共同参画オフィストックの実施
企業等に出向いて、ワークショップ形式による簡単な討論会を企業内研修や業界団体研修と連携して実施し、男女共同参画への理解促進と意識改革を促す。
 - ・対象 経営者、人事担当、従業員
 - ・実施時期 随時

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革	評価	
課題	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進		
	指標	男女共同参画推進宣言企業認定数	単位 企業
	目標値	現状値	
	平成26年度	平成22年度	平成23年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	80	-	-
		59	63

事業費

	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算			1,800	1,100	1,000
	決算			1,550	962	
一般財源	予算			1,800	1,100	1,000
	決算			1,550	962	
事業費累計				0	2,512	3,512

評価

	項目	評価	左記の評価の理由
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	男女共同参画推進員ネットワーク事業費	事業開始年度	H11	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011		

作	組	織	男女共同参画課		
成	職	氏名	専門員 朝田 潤子		
者	電話番号	076 - 225 - 1378 内線 3872			

事業の背景・目的
 男女共同参画推進員は、男女共同参画推進条例に基づき、地域における男女共同参画の推進の担い手として、公募及び市町推薦により県が委嘱している。
 推進員のスキルアップのための研修を実施するとともに、推進員経験者による男女共同参画推進応援団を設置し、地域における男女共同参画の普及啓発に取り組む。

事業の概要

- 1 男女共同参画推進員の設置
 - (1)人数 95人(市町人口規模に応じて、公募及び市町からの推薦により委嘱)
 ※配置計画97人(欠員2 随時補充)
 - (2)役割
 - ・男女共同参画の普及啓発
 - ・県事業への協力
 - ・男女共同参画推進応援団との連携
 - (3)推進員のスキルアップのための研修の実施
 地区別研修会 加賀地区・能登地区 各1回
- 2 男女共同参画推進応援団の設置
 - (1)応援団の構成 推進員経験者で構成
 - (2)活動内容
 - ・市町の枠を超え広域的に男女共同参画の普及啓発
 (紙芝居等による出前講座を実施)
 - ・推進員への助言・指導
- 3 活動事例集の発行(年1回)

これまでの見直し状況
 推進員配置数見直し 198人(H13～20) → 95人(H21～) → 97人(H25～)
 男女共同参画推進応援団の設置(H21～)

施策・課題の状況					
施策	男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革				評価
課題	あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進				
	指標	男女共同参画出前講座開催回数			単位
	目標値	現状値			
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	10	22	13	11	9

※出前講座はH21開始

事業費					
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	1,688	1,550	1,270	1,376
	決算	1,568	1,383	1,025	1,183
一般	予算	1,688	1,550	1,270	1,376
	決算	1,568	1,383	1,025	1,183
事業費累計		38,314	39,697	40,722	41,905

評価	
項目	評価
左記の評価の理由	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 女性県政会議負担金	事業開始年度	S38	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011		

作組	織	男女共同参画課			
成職	氏名	課長補佐	山岸	小百合	
者電	話番号	076	-	225	-
				1376	内線 3862

事業の背景・目的
 女性の政治意識の高揚と県政に対する課題について話し合い、地域の発展に役立てることを目的として石川県婦人団体協議会が実施する「女性県政会議」の開催経費の一部を負担することで、女性の社会参画を促す。

事業の概要

- 1 開催地区・時期
 金沢地区 : 8月
 能登地区 : 9月
 中能登地区:10月
 加賀地区 :11月
- 2 参加者
 婦人団体の代表者
 知事・関係部局長等
- 3 主催
 石川県・石川県婦人団体協議会

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大				評価	
課題	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成					
	指標	女性県政会議参加者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	1,180	1,310	1,230	1,340	1,250	

事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
	決算	1,250	1,250	1,250	1,250	
一般	予算	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
財源	決算	1,250	1,250	1,250	1,250	
事業費累計		36,500	37,750	39,000	40,250	41,500

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 女性県政学習バス開催費	事業開始年度	S39	事業終了予定年度		作 組 織	男女共同参画課	
	根拠法令 ・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011			成 職・氏名	主事 千田 えり	
					者 電話番号	076 - 225 - 1378 内線 3873	

事業の背景・目的
 県及び市町等の施設の見学を通して県政等の理解と認識を深めることにより、女性の一層の社会参画の気運醸成を図る。

事業の概要
 1 運行期間
 5～11月

2 実施地区及び運行日

地 区	所 管	運 行 日	備 考
加賀地区	男女共同参画課	月～金曜日	一部、土日運行あり
中能登地区	中能登総合事務所	月～金曜日	
奥能登地区	奥能登総合事務所	月～金曜日	

3 対象

- ・女性県政学習バス(団体): 30～50人の女性団体・グループ
- ・県政学習バス(個人) : 県内在住の成人男女
- ・県政学習バス(地域団体): 30～50人の成人男女からなる団体・グループ
- ・家族県政学習バス : 子ども(小学生)とその保護者
- ・身体に障害のある方のための県政学習バス: 身体障害者手帳の交付を受けている方

4 運行計画台数

	加賀地区	中能登地区	奥能登地区	計
日帰り	77	68	52	197
一泊	-	-	2	2
小 計	77	68	54	199
身障者	1			1
合 計	78	68	54	200

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大				評価
課題	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成				
	指標	県政バス運行台数			単位
	目標値	現状値			
	平成26年	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	200	200	198	198	188

事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	
事業費	予算	12,334	11,850	11,870	11,454	12,021
	決算	11,595	11,542	11,631	10,574	
一般	予算	12,334	11,850	11,870	11,454	12,021
財源	決算	11,595	11,542	11,631	10,574	
事業費累計		503,092	514,634	526,265	536,839	548,860

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	○	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	○	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ女性基金費(補助金)	事業開始年度	H5	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	いしかわ男女共同参画プラン2011		

作	組	織	男女共同参画課		
成	職	氏名	専門員 小石 沙織		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1376 内線 3863

事業の背景・目的
男女が共に協力し豊かさを実感できる社会づくりを目指すため、広く女性の意見を反映しその多様な能力を生かして女性の主体的な活動の推進を図る。

事業の概要

1 補助額
6,132千円

2 事業計画

- (1) 調査研究事業
 - ・女性に関する調査研究の委託
- (2) 情報収集・提供事業
 - ・情報誌の発行 「エール」の作成・配布 年2回
 - ・女性人材情報の収集及び提供を行う女性人材バンク事業の実施
 - ・女性のチャレンジ賞表彰の実施
- (3) 研修・講座事業
 - ・ビジネススキルアップ講座 (6講座)
 - ・女性のための人間力向上講座 (3回2コース)
 - ・女性創業支援相談会 (2箇所)
 - ・キャリアデザイン研修 (3回)
 - ・管理職養成研修 (6回)
 - ・IT活用講座(2コース)
- (4) 交流促進事業
 - ・女性センターフェスティバルへの参画(H26.10.11 講演会、映画上映等)
 - ・女性団体のネットワーク化支援
 - 女性団体交流会の開催 H26.9.7
 - 女性チャレンジフォーラムin能登の開催
- (5) 活動支援事業
 - ・女性の社会参画を推進する団体・グループ等の活動を支援
- (6) 広報・啓発事業
 - ・事業案内リーフレットの作成

これまでの見直し状況
平成20年度より(公財)いしかわ女性基金に対する財政支援の方法を貸付金から補助金に変更
右記の事業費累計は補助金の累計とする

施策・課題の状況						
施策	方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大	評価				
課題	方針の立案・決定過程へ参画できる女性の人材養成					
	指標	ビジネススキルアップ講座受講者数	単位	人		
	目標値	現状値				
	平成26年	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	171	121	176	185	171	

事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	7,936	7,283	6,434	6,132	6,132
	決算	7,936	7,283	6,434	6,132	
一般財源	予算	7,936	7,283	6,434	6,132	6,132
	決算	7,936	7,283	6,434	6,132	
事業費累計		23,780	31,063	37,497	43,629	49,761

評価	
項目	評価 左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	配偶者等暴力対策費	事業開始年度	H12	事業終了予定年度		作 組 織	男女共同参画課
		根拠法令	いしかわ男女共同参画プラン2011	成 職・氏名	専門員 朝田 潤子	者 電 話 番 号	076 - 225 - 1378 内線 3872
		・計画等	配偶者暴力防止及び被害者保護に関する基本計画				

事業の背景・目的

暴力は、その対象の性別に関わらず許されるものではないが、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、男女共同参画社会形成の妨げとなっている。
 女性に対する暴力のなかでも特に、配偶者からの暴力については家庭内で行われることから潜在化しやすく、また、婚姻前から暴力を受けている場合もあることから、若年者に向けた啓発が必要となっている。

事業の概要

- 1 関係機関の連携強化
 - (1)DV対策支援等連絡協議会(39機関)
 開催回数:全体会議 年1回、事例検討会 年1回
 活動内容:情報交換、問題協議、人的ネットワーク構築、事例検討
 - (2)職務関係者等に対する研修
 対象:相談機関、医療関係者等
 内容:相談の受け方、DVが女性の健康に与える影響、二次被害の防止
- 2 「ストップDV」予防啓発の推進
 - (1)若年層への交際相手からの暴力の予防啓発
 - ①高校生への予防啓発セミナーの開催
 実施回数 1回×8校
 - ②教員研修の実施
 高校生達に身近な教職員にもDVについての専門知識を深めてもらうため、教員研修を実施し、あわせて25年度作成した「DV予防啓発指導者用手引き」の効果的な活用を図る。
 - ③若年層向けDV予防啓発出前講座の開催
 対象:高校生・大学生等
 講師:石川県女性相談支援センター相談員
 - (2)いしかわパープルリボンキャンペーンの実施
 パープルリボンツリーの設置、県施設のライトアップ、街頭キャンペーン、ミニコンサート
 女性に対する暴力をなくすためのシンポジウム(講演会)の開催等
 実施時期:平成26年11月
- 3 経済的自立に向けた支援:委託(委託先:一般財団法人石川県女性センター)
 - (1)生活物資の調達
 - (2)就職支援
- 4 語り合う場の提供
 毎月1回実施(計12回)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	女性の人権が推進・擁護される社会の形成	評価	
課題	女性に対するあらゆる暴力の根絶		
指標	女性に対する暴力をなくすシンポジウム参加者数	単位	人
目標値	現状値		
平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
平成25年度	平成26年度		
76	81	100	80
	80		

事業費						
(単位:千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	1,767	1,767	1,478	2,300	2,021
	決算	1,568	1,559	1,257	2,112	
一般	予算	1,767	1,327	986	1,858	1,579
	決算	1,568	1,117	768	1,670	
事業費累計		24,502	26,061	27,318	29,430	31,451

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	○	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	○	